

---

# 日本放送協会 理事会議事録

(2021年 9月14日開催分)

2021年10月 1日(金)公表

---

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2021年 9月14日(火) 午前10時30分～11時05分

<出席者>

前田会長、正籬副会長、松坂専務理事、板野専務理事、角専務理事、  
若泉理事、松崎理事、小池理事、田中理事、林理事、  
児玉理事・技師長、伊藤理事  
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

前田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) 会長直轄プロジェクトの設置について
- (2) 2021年度後半期の国内放送番組の編成について
- (3) 2021年度後半期の国際放送番組の編成について
- (4) 就業規則等の一部改正について

## 2 報告事項

- (1) 考査報告

### 3 審議事項

#### (5) 第1384回経営委員会付議事項について

#### 議事経過

##### 1 審議事項

###### (1) 会長直轄プロジェクトの設置について

###### (経営企画局)

NHKの喫緊の課題である、インターネット社会実証、新放送センター情報棟最適化、オフィス抜本改革について、会長直轄プロジェクトを設置し、会長特命の放送総局改革・視聴者総局改革・地域改革プロジェクトと連携して、迅速に課題解決を進めることとします。

本件が決定されれば、本日9月14日付でインターネット社会実証、新放送センター情報棟最適化、オフィス抜本改革の3つのプロジェクトを会長直轄プロジェクトとします。なお、設置期間は、インターネット社会実証については、来年度の社会実証終了まで、新放送センター情報棟最適化、オフィス抜本改革については今年度末までとします。

###### (会 長)

インターネット社会実証は、今後のNHKのインターネットのあるべき姿を実現していくための実証になります。NHKのインターネットサービスは、これまで縦割りで開発、実行してきたため、使い勝手が良いとは言えません。今後はインターネットサービスを視聴者目線で使い勝手の良いサービスにしていく必要があると思います。インターネット社会実証では、サービスの視点を視聴者目線に合わせ、視聴者にとって使い勝手の良いサービスにしておくためのデータを取りたいと思っています。その意味で、NHKの未来がかかった取り組みになります。そこでこのプロジェクトの責任者は、若手を登用したいと思います。デジタルに強い人材を登用し、短期集中で取り組みます。

新放送センター情報棟については、1年前にも様々

な見直しをしましたが、放送総局や視聴者総局の改革に取り組む前でしたので、例えばデジタルをどう活用するのとかいう視点などが十分に入っていません。コストの削減が目的ではなく、プロジェクトでは将来的なことを考え、足りない部分を埋め込む検討をしていただきたいと思います。

今後、制作事務棟の建設も進んでいきます。新放送センターについては、全体を見直していますが、その中で情報棟は最初に完成しますので、改めて見直して、現時点で分かっている範囲のことを取り入れていただければと思います。

最後に人材育成について、専門性を見える化したいと思っています。私は、NHKの縦が担ってきた専門性がしっかり継承されてきたかということに疑問を感じています。専門性はノウハウだと思っています。色々な人が身に付けたノウハウを継承しないと、その人がいなくなるとノウハウが無くなり、専門性は育ちません。そういう意味で、ノウハウを見える化し継承するという組織風土を作れば、NHKは強くなると思います。個人だけで頑張ることには限界があります。組織・チームでプロのPD、プロの記者、プロのエンジニアなど、そういうプロと言える人材を育て、かつその人たちは後輩のために専門性をしっかり継承する、そういう伝統を作ってもらいたいと思います。そうしないとスリムで強靱なNHKになりません。是非、継承できる仕組みを整えていただければと思います。

(会 長)           ほかにご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(2) 2021年度後半期の国内放送番組の編成について

(編成局)

2021年度後半期の国内放送の編成について、審議をお願いします。

後半期については、経営方針や各種指標に基づき、ジャンル管理を深化させることを前提に、来年度の改定も意識して行います。

その主な柱ですが、3つあります。

1つ目は「地域情報の全国発信の強化」です。大阪拠点放送局と全国各地の放送局が協力して制作する情報番組、地域を舞台にした新たなスポーツ番組を新設します。

2つ目は、「公共メディアキャンペーンなどを軸としたブランド力の向上」です。定時番組の強化やSDGs関連の番組の集中編成を実施します。

そして、3つ目は、「ジャンル管理に基づく戦略的な編成」です。重複する内容の番組を整理して経営資源を集中させ、質の高いコンテンツを合理的なコストで提供します。

後半期の改定は、各波とも9月27日月曜日から実施いたしますが、BS1は、野球のシーズン終了や欧米の夏時間の終了に伴う改定のため、11月8日月曜日から実施します。

各波の主なポイントを説明します。

まずは総合テレビジョンです。

朝の連続テレビ小説は11月1日月曜日から「カムカムエヴリバディ」が始まります。ラジオ英語講座と共に歩んだ三人のヒロインが紡ぐ100年のファミリーストーリーです。

次の大河ドラマは、「鎌倉殿の13人」です。源平合戦から鎌倉幕府誕生の時代に、源頼朝に学び武士の世を盤石にした二代執権・北条義時と、権力の座をめぐる男女の駆け引きを描きます。

また、NHKの全国ネットワークの強みを生かし、地域情報の全国発信を強化します。そのために新設するのが、水曜日の夜8時15分から放送する、「ロコだけが知っている」です。大阪拠点放送局がハブとなって、全国各地の放送局と協力し、“ロコ”という地元を愛する人だけが知っている名所の楽しみ方やご当地グルメ、知られざる歴史や文化など、見たあと誰かに話したくなる“地元ネタ”を発掘します。

視聴者とNHKをつなぐ新たな広報番組、「#NHK」を新設します。受信料制度や経営計画などの経営広報のほか、公共メディアキャンペーンの取り組み、「NHKプラス」や「NHK for School」などのインターネットサービスまで、幅広くお知らせします。

続いて教育テレビジョン（Eテレ）です。

月曜日の午後7時25分からのSDGsキャンペーンシリーズ「ひろがれ！いろとりどり」の第3週には、「リフォーマーズの杖」を放送します。荒廃した未来からやってきたリフォーマーズが環境破壊を食い止めようと現代人に行動変容を促していくファミリー向け番組です。

なお、11月は、「環境」「ジェンダー」「若者」を主なテーマとして、NHKスペシャルをはじめ、様々な特集番組、定時番組でSDGs関連の番組を集中的に編成します。また、渋谷で開催するイベントとも連携し、視聴者にしっかりとメッセージを届けるトライアルも行います。

木曜日の夜には、ナチュラルライフに関心が高い視聴者を意識したゾーン編成を強化します。夜9時からは「ソーイング・ビー4」、全英各地から集まったアマチュアの裁縫名人たちが勝ち抜き戦を行うイギリス・BBC放送の人気シリーズの第4弾です。夜10時30分からは、“ネコ目線”が人気の「岩合光昭の世界ネコ歩き」の25分版と、世界各地の食文化からのインスピレーションをもとにレシピを発表し続ける料理人、レイチェル・クー氏の最新作「レイチェルのチョコレート旅」を放送します。

続いて、BS1です。

BS1でも、地域情報の発信を強化するねらいの番組を放送します。土曜日の午後4時からの「スポヂカラ！」は、様々な課題を抱える地域を舞台に、スポーツの力が生み出す希望や絆の物語を描く新しいドキュメンタリー番組です。

土曜日の夜11時からは「球辞苑」を放送します。レギュラー化して6シーズン目の番組で、今年も知られざる野球の極意を紐解きながらオフシーズンの野球ファンの期待に応えていきます。

続いてBSプレミアムです。

金曜日の午後7時30分からは「イッピン」を放送します。昨年度までの火曜日から金曜日に移設し、各地の伝統工芸から生まれた、上質でユニークな工芸品を紹介していきます。ジャンル管理で内容に重複のある番組を整理する観点から、前期に放送していた「美の壺」とあわせて制作本数を管理しつつ、美術ファン層のさらなる獲得を目指します。

続いてBS4Kです。

再放送の時間を一部変更しています。前期は月曜日の午後5時から再

放送していました「ヒューマニエンス 40億年のたくらみ」を午後4時30分から前倒しします。

BS8Kは、日中と夜間帯にそれぞれ、ジャンルや番組の定時編成を継続します。

続いて「ラジオ第1」です。

土曜日の午後4時5分から、「あさこ・佳代子の大人なラジオ女子会」を放送します。プライベートでも仲の良い、いとうあさこさんと大久保佳代子さんが多彩なゲストを迎えてトークを繰り広げるラジオバラエティー番組です。

続いて「ラジオ第2」です。月曜日から水曜日の午前10時30分から、「ラジオで！カムカムエヴリバディ」を放送します。これは、後期の連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」で登場するラジオ英語講座をそのまま再現する語学番組です。ドラマの内容に合わせた英語スキットなどドラマ本編とも連動して、ラジオ英語講座の進化なども紹介します。語学番組とドラマ、異なるジャンルの連携で、相乗効果を生み出すことをねらいます。

FM放送については、前期からの変更はありません。

補完放送は、後期から始まる連続テレビ小説、大河ドラマでも行います。ハイブリッドキャストでは、ドラマのあらすじ紹介に加えて、ダイジェスト動画を活用して番組の理解増進につなげます。

インターネット活用業務に関しては、複数の拠点放送局で放送するニュース番組をNHKプラスで提供できるよう、準備を進めています。

なお、今年度の後半期には、北京オリンピック・パラリンピックが予定されています。東京大会で実施したユニバーサル放送の知見も踏まえて、放送の充実に努めていきたいと考えています。

本件が決定されれば、本日開催の第1384回経営委員会に報告します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(3) 2021年度後半期の国際放送番組の編成について

(国際放送局)

2021年度後半期の国際放送番組の編成について、審議をお願いし

ます。

「NHKワールド JAPAN」のテレビジョン国際放送（英語による外国人向け放送）では、ジェンダーの平等や多様性を提示するドキュメンタリー「Five Frames for Love」や幅広い年代が家で過ごす時間を楽しめる教育テレビジョンの工作番組「Dank o&Danta」を新設します。

「NHKワールド・プレミアム」では、日本時間の午後1時台に「列島ニュース」を総合テレビと同時に放送し、海外向けにインターネットでも配信します。

「NHKワールド JAPAN」のラジオ国際放送（多言語による外国人向け放送）では、英語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語による在留外国人に向けた日本での生活に役立つ情報番組「Living in Japan」や、日本に暮らす日系ブラジル人に向けた情報番組「週刊ニッポン短信」を新設します。ラジオ第2との連携やインターネット配信も図ります。

日本語による在外邦人向けラジオ国際放送「NHKワールド・ラジオ日本」については、例年行っているラジオ第1のプロ野球終了に伴う番組措置を行います。

後半期の改定は国内放送番組と同様、9月27日月曜日から実施します。

本件が決定されれば、本日開催の第1384回経営委員会に報告します。

（会長）                   ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

#### （4）就業規則等の一部改正について

（人事局）

就業規則等の一部改正について、審議をお願いします。

主な改正内容は、「週4日集中勤務の導入」、「短時間勤務制度の拡充」および「自己啓発休職の導入」です。いずれも計画を前倒しし、12月から実施します。これらの施策は、職員一人ひとりのキャリアに合わせて多様な働き方を推進するものです。各職員のやる気と能力を引き出すことで、NHKのコンテンツやサービスを充実していくことが目的

です。

まず、「週4日集中勤務の導入」です。現行のフレックスタイム制度をより柔軟な形に見直し、1週の勤務日を4日とすることを可能にします。

次に、「短時間勤務制度の事由の拡充」です。現在は、短時間勤務を認める事由として、育児と介護をあげています。これに加え、自己啓発と疾病治療を新たに認めます。

続いて、「自己啓発休職の導入」です。復職後にその成果を業務に還元してもらうことを前提として、自己啓発を事由とする無給の休職制度を新設します。

なお、休職中は無給であることから確定拠出年金の拠出が中断されます。これに伴い、企業型年金規約の改正を行います。あわせて確定拠出年金法の法改正などに伴う法定の規約改正も行います。この確定拠出年金法は、運用・手続きの微修正が行われています。それに伴う規約の文言の修正も行います。

改正する就業規則等については、本件が決定されれば、法令に基づき、労働基準監督署等に届け出ます。

(正籬副会長)        これからの時代に必要な改正内容であると思います。お願いしたいのは、フレックスタイム制度や短時間勤務制度が拡充されると、勤務の自由度が高まることとなります。勤務管理など管理職に負担がかかることが想定されますので、効率化、簡便化できる仕組みも考えて欲しいと思います。

(人事局)            ご指摘の通りです。次期基幹業務システムの導入で簡便になる部分があると思いますが、過渡期については、管理職に負荷がかかる可能性があります。制度の対象になる人ときちんと話し合いを積み重ねながら、計画的に制度を利用していただくことが大事だと思います。

(会 長)            ほかにご意見等がありませんので、原案どおり決定



します。

## 2 報告事項

### (1) 考査報告

#### (考査室)

2021年7月12日から9月7日までの間に放送した、ニュースと番組等について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース13項目と番組47本、国際放送では、ニュース3項目と番組4本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目として、菅首相が総裁選立候補を断念し退任する見通しであること、緊急事態宣言の中で異例づくめの五輪が開催されたことなどがありました。

番組では、難解な暗号資産（仮想通貨）の仕組みについて、漫画家が斬新な映像表現で“わからなくても興味を抱かせる”ことに挑戦した情報系エンターテインメント番組「21世紀の複雑社会を超定義 暗号資産（仮想通貨）を超定義の巻」（総合・7月19日放送）などを考査しました。

インターネットコンテンツでは、視聴者から寄せられた疑問を徹底調査し、ニュースや専用サイトで結果を報告する「シラベルカ」を考査しました。

地域番組では、西日本豪雨の被災地に出張し、復興へ一步を踏み出した県民の姿を伝えた「出張ひめDON！ それぞれの復興、新たな一步～西日本豪雨から3年～」（総合・愛媛県域・7月9日放送）などを考査しました。

国際放送「NHKワールドJAPAN」では、タリバンが権力を掌握する中、国外に退避しようと市民が殺到するカブールの空港近くで多くの犠牲者を出す自爆テロがあり、米軍が報復するなど緊張が高まったニュース項目などを考査しました。

考査の結果、これら一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、おおむね妥当であったと判断します。

## 3 審議事項

### (5) 第1384回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

本日開催の第1384回経営委員会の付議事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として、「2021年度後半期の国内放送番組の編成について」、「2021年度後半期の国際放送番組の編成について」および「放送センター建替え関連について」です。

(会 長)           ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2021年 9月28日

会 長   前 田 晃 伸